
筒条書き物語。（ 小説更新無期限停止 ）

摩璃藻

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

筒条書き物語。 (小説更新無期限停止)

【Nコード】

N3048C

【作者名】

摩璃藻

【あらすじ】

全部筒条書きの短編集。シリーズ物。

過剰暴力一家編 6:00〜12:00 (前書き)

・こんな家嫌だ。

過剰暴力一家編 6:00〜12:00

AM 6:00〜12:00

・起床。

・ドアを開けたら姉貴がドロップキックをかましてきやがる。

・軽くよけてこめかみあたりに肘打ちをかます。

・当然上から。

・姉貴の体が床にめり込んだのはこの際気にしない。

・朝食。

・ふと見るとスープに剃刀の刃が何枚か。

・母親は「食わねえとどうなるかわかってんだろっな？」って眼で見ってくる。

・しょうがなく噛み砕きながら食べる。

・意外に美味い。

・読みが外れた。

・食べても食べなくても襲い掛かる気だったらしい。

- ・ 正面から来たので返す刀で2の腕を貫く。
- ・ 母親が舌打ちしながら腕の手当てを始める。
- ・ 父親が新聞をめくるたびにこちらにナイフが飛んでくる。
- ・ それを最小限の動きでかわす。
- ・ 朝食終了。
- ・ 壁を見ると自分の座っていた場所の後ろあたりにナイフが刺さっている。
- ・ よく見ると全て急所のあたり。
- ・ やるな父。
- ・ 登校。
- ・ 平和。
- ・ すこぶる平和。
- ・ リラックス。
- ・ チョークなんて怖くない。
- ・ 確実に急所を狙ってくるナイフに比べたら。

- ・昼食。
- ・しまった弁当忘れた。
- ・という事は。
- ・姉貴が弁当を届けに来るであろう。
- ・他の生徒に危害が及ばないように人のいない場所を探す。
- ・気が重い。

過剰暴力一家編 6:00〜12:00 (後書き)

こちらは前編です。

過剰暴力一家編 12:00〜0:00 (前書き)

後編ですね。

過剰暴力一家編。 12:00〜0:00

12:00〜0:00

- ・姉貴きた。
- ・持ち出していた金属バットで後頭部をおもいつきり殴る。
- ・姉貴の体が地面にめり込む。
- ・弁当だけ救出。
- ・屋上へGO。
- ・蓋を開ける。
- ・全部剃刀。
- ・ニトログリセリン漬け。
- ・食べないと負けた気がするので食べる。
- ・うん。
- ・ニトログリセリンと剃刀がすばらしいハーモニーを奏でてるわ
きやねえよな。
- ・とりあえず食えないことはないっばい。

- ・他の人が食べたら即死だろうけど。
- ・午後の授業。
- ・お腹すいた。
- ・ちゃっかり持ち出してきたパンを食う。
- ・47個目ぐらいでばれる。
- ・残りの53個も没収される。
- ・イラッときたので教師を睨む。
- ・土下座される。
- ・戻ってきたのでよしとする。
- ・部活に出る。
- ・「オカルト研究部。」
- ・むしろうちの家族を研究して欲しい。
- ・親友に言ったら「お前もな」って言われた。
- ・地味に凹む。
- ・でもそんな俺と親友なお前も研究して欲しいよ。

- ・部活が終わって出てきたところを捕獲される。
- ・不良さんでした。
- ・カツアゲを初めて経験する。
- ・ひとしきり受けてみたあと言葉の暴力を浴びせ掛ける。
- ・逆カツアゲ成功。
- ・下校。
- ・うちは遠い。
- ・ので途中から誰もいない。
- ・ちょうどそのあたりから明らかに俺を狙ったであろう罠が大量に設置されている。
- ・回避できなさそうな物まで回避。
- ・家に入ったら弟に舌打ちされる。
- ・やっぱりお前か。
- ・弟を一発殴る。
- ・壁にめり込む。
- ・ふん馬鹿め。

- ・俺に喧嘩売った事を後悔するがいいさ。
- ・かつこつけてはみたけど絶対後悔なんてしないんだろっな。
- ・やっぱりちょっと凹む。
- ・風呂。
- ・晩飯。
- ・はもちろん剃刀でした。
- ・宿題。
- ・さて寝るか。
- ・おっとその前にいつもの儀式。
- ・「朝起きたらうちの家族がまともになっていきますよっに。」
- ・叶ったためしはない。
- ・就寝。

過剰暴力一家編 12:00~0:00 (後書き)

感想が欲しいです・・・。
結構切実に。

過剰天然一家編 6:00~12:00 (前書き)

天然一家編です。

過剰天然一家編 6:00~12:00

6:00~12:00

・起床。

・早くしないと。

・お昼ごはん。

・あれ？何かおかしい。

・まいつか。

・お昼ごはん。

・ママ いつもどおりお昼ごはんつまいな。

・つぶつぶ 朝ごはんも晩ごはんもつまいわよ。

・あ そっか。

・ええ そうよ。

・あはは。

・つぶつぶ。

・ははは。

・くすくす。

・投稿。

・？やっぱりなんかおかしいなあ。

・まあいつか。

・学校。

・「どうして男物の制服来てるの？」

・あ おかしかったのこのせいなあ。

・「ここ女子高なのに。」

・兄も弟もいないのにねえ。

・授業。

・「教科書23ページ開け。」

・あれ？先生 ここ習ってないんじゃない？

・「それ数学の教科書だぞ 今は国語。」

・「しかもさかさま。」

・「ついでに2学期のやつ。」

・あれねえ？

・2 限目 美術

・「それ クレヨンだよ？今からは絵の具で色塗り。」

・あ そっか。

・「それは墨汁。」

・どう違うの？

・「墨汁は黒しかないでしょ。」

・「絵の具はいっぱい色があるでしょっ。」

・なるほど。

・頭いいね。

・「そんなことはあるわよ。」

・わーい 自画自賛。

・3 限目 社会

・あれ？

・「」どうしたの？」

- ・間違えて東 大学の問題集持ってきちゃった。
- ・「どうやったたら間違えるの?」
- ・表紙の色が似てるの。
- ・「社会の教科書表紙青だったわよね。」
- ・うん。
- ・「こっちどう見ても黄色じゃない?」
- ・わーい反対色。
- ・4限目 は飛ばして晩ごはん。
- ・「お昼ごはんでしょ?」
- ・お昼ごはんは朝家で食べてきたよ?
- ・「そう それなら何も言わないわ。」
- ・あや?
- ・「どうしたの?」
- ・お弁当家に忘れてきちゃった。
- ・「大変ね。」

• 2019-2020 •

過剰天然一家編。 6：00～12：00（後書き）

アホだ。 友人もアホだ。

過剰天然一家編 12:00~6:00 (前書き)

意外と怖い子です。

過剰天然一家編 12:00〜6:00

12:00〜0:00

- ・仕方なく友達の弁当を分けて貰って事なきを得たよ。
- ・友達は「弟に弁当届けてくる」って言っていっちゃった。
- ・「クツクツク 母の弁当に苦しむがいい」だって。
- ・あんな禍禍しい笑い方は漫画でも見た事無かったよ。
- ・弁当箱の中身は全部剃刀のニトログリセリン漬けたよ。
- ・結構美味しかったんだ。
- ・でもちよっぴりお腹痛いや。
- ・腐ってたのかなあ？
- ・5限目。
- ・技術だったんだけど 友達が途中で戻ってきたよ。
- ・話を聞くと弟さんに不意打ちされたらしい。
- ・物騒だねえ。
- ・助かったよ。

- ・技術はノミしか持って来てなかったんだあ。
- ・「今日は何も作らないでしょ？」
- ・サラダ作るんじゃないの？
- ・「それは家庭。」
- ・「あと明日。」
- ・「それと何でサラダでノミ使うの？」
- ・目玉のサラダ好きなんだけど。
- ・部活は帰宅部。
- ・早い話何部にも入ってないって事なんだけどね。
- ・わー 髪の毛前の方に出っ張ってる人初めて見たよ。
- ・どうやったらその髪型出来るのか聞いて見たけど「ふざけんな」って言われちゃった。
- ・「面かせや」って言われたよ。
- ・ノミで剥ぐしかないから多少不恰好になるかもしれないけどいい？ってきいたらその人は「はあ？」ってな眼つきで見えてきたよ。
- ・実際言われたけど。

・その後も何かいろいろ言われたけど最終的に青褪めながら逃げられた。

・私変な事言っただかな？

・その後は普通に家に帰ったの。

・お風呂お風呂。

・朝ごはん朝ごはん。

・剃刀だったよ。

・理由を聞いて見たら「近所の人をやったから」だったさ。

・私の友達のお弁当も剃刀だったからきつとその家友達の家だね。

・おやすみなさーい。

・眠いのに寝れない。

・あ 電気消し忘れてた。

・布団だしてなかった。

・改めておやすみなさーい。

過剰天然一家編。 12:00〜6:00 (後書き)

微妙なつながり発覚。

次はどんなのにしようかな？できれば暴力一家の方の弟や、天然一家の方の妹できなくてないけどからませたいなあ。

ぶっちやけてはつきり言います。

ネタください(コラ

過剰食之家編。 6:00〜12:00 (前書き)

食えっぼさが出て無いかも。

過剰貧乏一家編。 6:00~12:00

6:00~12:00

- ・起床。
- ・朝飯は抜き。
- ・そんな金はねえ。
- ・準備をささつとして登校。
- ・学校に着いた。
- ・中学で男子校って聞いた事ねーんだけど。
- ・「貴方のその足の裏はどうなっているのですか？」
- ・毎日裸足で片道2時間の道走ってりゃ嫌でもなれるぞ？
- ・ちなみにさっきの女は俺の友人。
- ・なぜ男子校に女がいるんだろう。
- ・それはコイツが男装してこの学校に通っているから。
- ・でも今日は女の制服だ。
- ・奴が言うには「姉が間違えて着ていったから」と。

・ ってことは高校の制服じゃん。

・ 「なるほど足の裏は盲点だった ということは落とし穴の中に画
鋏をしきつめて」

・ また兄貴陥れる罫でも考えてんのかこいつは。

・ しかしこいつの兄貴はその罫に引っかけた事ねえらしい。

・ 硫酸をなみなみと注いだ水槽を逃げ道のない所にたくさん置いて
おいたらしいんだが。

・ 回避というよりは無傷でそこを渡ったらしい。

・ 神か？

・ 足の裏はいくらなんでも駄目かもな。

・ 授業開始。

・ 頭を使うと腹が減るので授業中はもっぱら内職。

・ バレた事は無い。

・ テストでいつも90点台取ってるからかな。

・ 勉強は教科書チラ見するだけだぜ。

・ 休み時間も内職。

・その時だけは見えるようにしているので「偉いな」って褒められるぜ。

・給食。

・先程の友人（の方）がスープに何かを入れている。

・剃刀？

・聞くと「母が持たせてくれた」だと。

・結構美味いらしい。

・「さすがにこれなら兄貴も」とか言ってる。

・兄貴そんなに嫌われてんのか？

・俺も貰ったけど確かに意外と美味いかも。

・この味は ニトログリセリン漬けか。

過剰貧乏一家編。 6:00〜12:00 (後書き)

剃刀・・・いい子も悪い子もやめておきましょう。

異常じゃない限り死ぬから。

アイデアありがとうございました。

過剰貧乏一家編。 12:00~0:00

12:00~0:00

・5限目。

・当然内職。

・俺の事をよく思っていないらしいクラスメートが血割りやがった。

・変換ミス。

・「ちくり」な。

・怒られるのはやだしなあ。

・仕方が無い。

・言い訳作戦決行。

・「時間が足りなくて これを今日までに仕上げないとその分のお金が借金を返済する日以降になっちゃうんです。」

・半分嘘。

・でも教師は信じてくれました。

・むしろ褒められた。

- ・時間くれたよ。
- ・なんてったって俺の家が貧乏なのはみんな知ってるからな。
- ・ラッキー。
- ・奴は悔しがってる。
- ・覚えとけよ？（冷笑）
- ・今日は6限目無し。
- ・というわけで掃除。
- ・内職許されたよ。
- ・下校。
- ・ちなみに友人 は畏を仕掛けに行った。
- ・友人 は一緒に帰ると行って聞かない。
- ・家到着。
- ・風呂。
- ・五右衛門風呂。
- ・晩飯抜き。

- ・俺は給食だけで生活している。
- ・もう慣れた。
- ・弟&妹が群がってくる。
- ・かれこれ十二人。
- ・俺も足すと不吉な数字だ。
- ・俺は兄弟に飯を食わせるために頑張らんといかんのだ。
- ・母病弱だし。
- ・父いないし。
- ・母子家庭だからな。
- ・電気もつたいないから早く寝よう。
- ・おっと。
- ・いつも通り祈つとかないとな。
- ・「明日も俺と兄弟が健康でありますように。」
- ・俺働けなくなったら困るし。
- ・俺はいいとして兄弟病気になったら病院に行く金がねえ。

・就寝。

過剰貧乏一家編。 12:00〜0:00 (後書き)

あ、なんかこの主人公無駄にいい人だ。

番外編〜座談会〜（前書き）

箇条書きじゃねー！

番外編〜座談会〜

暴力一家主人公（以下、暴主）「今回座談会らしい」

天然一家主人公（以下、天主）「ネタがないだけだったりして」

貧乏一家主人公（以下、貧主）「それ言っちゃおしまいだと思う
ね」

暴主「裏設定もついでに暴露しちゃおうかなあと」

天主「下手したら最終回になるんじゃない」

貧主「一応続けるみたいだけど・・・」

暴主「ま、そこは読者様の反応次第と言う事で」

天主「人任せかよー」

貧主「ネタ下さい。んじゃ始まるよ〜」

暴主「まずは俺から。」

天主「ぱちぱち〜」

貧主「（何故口で・・・）・・・どんどんぱぱぱ〜」

暴主（以下、竹）「俺の名前は葉山竹だ」

天主「ネタのような名前だね」

暴力一家姉（以下、松）「私は葉山松よ。」

暴力一家弟（以下、梅）「僕は葉山梅だよ。」

暴力一家母（以下、華）「私は葉山華。旧姓も葉山なのよ。」

暴力一家父（以下、葉）「俺は葉山葉だ。」

貧主「み、みんなどつちもどつち・・・」

竹「本当に。家族それぞれ、得意攻撃があるんだと。」

松「私は格闘技全般。」

梅「僕は畏。」

華「私は爆発物。」

葉「俺は刃物。」

竹「で、俺がオールマイティだってよ。」

天主「ふうん。」

貧主「誰が一番強いのか？」

竹「俺。」

松「悔しいけどその通り。私が一番弱い。」

梅「僕は四番。」

華「私は三番ね。」

葉「俺は二番目だな。」

竹「一番強い俺を殺そうと躍起になって……。」

貧主「うわー……。」

天主「よってたかって？」

竹「ああ……。こんな生活もう嫌だ……。」

天主（以下、ぷりん）「次は私だね。私の名前は桃野^{もての}ぷりん。」

竹「変な名前……。」

天然一家妹（以下、ぜりー）「私は桃野ぜりー。」

天然一家母（以下、まるん）「私は桃野まるんよ。旧姓は桜山。」

天然一家父（以下、鬼志）「僕は桃野鬼志^{きし}です。」

貧主「うわぁーお。」

竹「父だけ名前怖くないか？」

貧主（以下、紫杏）「俺の名前は伏見紫杏。」

紫杏「兄弟は・・・上から、

紫音男13歳、

紫雲女12歳、

紫媛女双子11歳、

紫恩男双子11歳、

紫杉男10歳、

紫真男9歳、

紫泉男三つ子7歳、

紫尊女三つ子7歳、

紫楠女三つ子7歳、

紫仁男双子6歳、

紫念男双子6歳、

紫蘭しいらん女5歳。「

竹「ごくろー」

貧乏一家母（以下、奈々紫）「ごほごほ。私は伏見ふしみ奈々紫ななしです。」

ぷりん「……あれ、もしかしてこれで終わり？」

竹「もしかしなくてもおわりだな。」

紫杏「自己紹介しただけじゃないのか？」

竹「たしかに。」

ぷりん「……！今おもったんだけどさ」

紫杏「何？」

ぷりん「主人公sの中では私が一番年上なんだよね！」

竹&紫杏「……！！！！！」

竹「な……なんと言う事だ……」

紫杏「最後の最後で……」

ぷりん「……それって、なんか酷くない？」

感想お待ちします。

番外編〱座談会〱（後書き）

切実に待っています。

ネタバレさ（コロナコロナ）

過剰下手一家編。 6：00～12：00（前書き）

ネタがパツと思いついたので。

過剰下手一家編。 6：00〜12：00

- ・おはようございますです。
- ・皆様如何お過ごしでしょうか。
- ・挨拶が意味分からなくてすみませんです奥様。
- ・それとも旦那様でしょうか。
- ・それとも御坊ちゃまででしょうか。
- ・それともお嬢様でしょうか。
- ・こんな謎のループっぽいのでお時間取らせて申し訳ありませんです読者様。
- ・やはり読者様が一番しつくりきます。
- ・非常につまらなくてすみませんです読者様。
- ・ちなみに私は桃野家に仕えるただのしがないメイドでございます。
- ・男ですがメイド服を着ています。
- ・奥様の命令で御座います。
- ・よく「似合いですぎ 男じゃないだろ」って言われます。

- ・ お褒めに預かり光栄でございます。
- ・ でも男でいません。
- ・ あ 家族も此処ではたらいっております。
- ・ 「あ」とかタメっぽく言っちゃってすみませんです。
- ・ 「タメ」とか馴れ馴れしく言っちゃってすみませんです。
- ・ 朝食の用意は奥様がされるので私は食器をだしたり椅子を整えたりするのが仕事です。
- ・ 掃除などはまた他のメイドがやってくれます。
- ・ 私にも本来の仕事がありますがその仕事は出番がなかなか回ってこないのので他の事を手伝うのです。
- ・ ちなみに「守備隊長兼防衛線最終閉門」だそうです。
- ・ 意味はよく分かりません。
- ・ が誇らしくは思っております。
- ・ 上の方のお嬢様は出る時間です。
- ・ 玄関までついて行きます。
- ・ お嬢様はよく侵入者撃退しんりょうしやうげたいに引ひかかるのです。

・マジ迷惑です。

・「マジ」とか言っちゃってすみませんです。

・うっかり七十八個引っかかりそうになっておりました。

・きっちり助けましたがお嬢様はあんなんで人生大丈夫なんでしょうか。

・下のお嬢様も出る時間です。

・下のお嬢様は上のお嬢様よりは頭がいいので送り迎えは要りません。

・ていうか必要なのは上のお嬢様だけです。

・「ていうか」とか言っちゃってすみませんです。

・旦那様も奥様も出て行かれました。

・私は働いている他の人達を後目に部屋でゆっくりティー&読書タイムです。

・勿論自分の物ですよ。

・昔の暴走族時代の私ならさも当然とばかりにこの家の物を使っていたでしょうが。

・失礼 口が滑りました。

- ・今はすっかり丸くなりましたがね。
- ・でもまだ日々の鍛錬を毎日きっちりやっているのは秘密です。
- ・と、いろいろ名の喧嘩ですがね。
- ・ちてそるそる厚食です。

過剰下手一家編。 6：00～12：00（後書き）

これが終わったたらまたネタがありません。
下さいー！（コラ

過剰下手一家編。 12:00〜0:00(前書き)

短いなあ。ネタが無いなあ。

過剰下手一家編。 12:00~0:00

12:00~0:00

- ・今日は外で食べましょう。
- ・服はこのままでいいです。
- ・奇異の目で見られるのは慣れました。
- ・ふふっ 思った通りです。
- ・馬鹿野郎共がナンパしてきます。
- ・OKして食事に連れてってもらいます。
- ・おいしー。
- ・貰いでもらいましょう。
- ・こんな物ですかね？
- ・そのまま帰ります。
- ・「現役時代の睨み」をきかせたら何も言われませんでした。
- ・っであら？

- ・道に迷ってしまいました。
- ・うーん。
- ・おや畏だらけですねえ。
- ・ていうかレベル高い。
- ・家にも導入しましょうか。
- ・えっと信じられない光景が目の前に。
- ・あの人全部回避してるんですが。
- ・普通無理な気が。
- ・ぜひ手合わせして見たいですね。
- ・そんなわけで勝負を挑んでみます。
- ・不意打ちを軽々とかわしました。
- ・ふふっ そうでなくては面白くありませんね。
- ・困惑してますがそんな事は無視です。
- ・危機を感じたのか本気でやってくれるようです。
- ・おや？

- ・いつの間にか倒れてました。
- ・強いですねえ。
- ・息も切らしてないですよ。
- ・この人が家に侵入してきたらひとたまりもないですね。
- ・あー何か言ってます。
- ・「俺は平穏な暮らしがしたいのに！」
- ・多分無理ですね。
- ・さてそろそろ帰りますか。
- ・今日も本来の仕事は回ってきませんでした。
- ・あー眠いです。
- ・バナナパジャマで就寝です。
- ・お休みなさい。

過剰下手一家編。 12:00~0:00 (後書き)

「へた」ではありません。

「したて」ですよ。

この強い人、誰だか分かりましたか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3048c/>

筒条書き物語。（ 小説更新無期限停止 ）

2010年10月10日05時27分発行